

「ひと・あい・ふれあい」

主催／吹田市・吹田市教育委員会
吹田市人権啓発推進協議会

昨年に引き続いて、今年も5回連続のセミナーです。今年のテーマは「ひと・あい・ふれあい」です。地区委員会活動に取り入れていただけるものやこのセミナーでしか学べないものなど多彩な学習内容です。参加希望の方は、8月16日(金)から電話で人権啓発室(384-1231)へ。先着40人。無料。市内在住・在勤・在学の人で、5回とも参加できることが原則ですが、定員に余裕のある場合1回の参加も可。手話通訳もつきます。

- 9月11日(水) 午前9時～午後1時 「ひと・まち・くらし再発見～リバティおおさか見学～」
場所：大阪人権博物館 (定員40人)
- 9月21日(土) 午後3時30分～4時45分 人形劇「ややこし おばけ」
場所：内本町コミュニティセンター 多目的ホール (定員200人)
- 10月5日(土) 午後2時30分～4時30分 講演「癒されるために～エイズ被害と私～」
講師：花井十伍さん(大阪HIV被害訴訟原告)
場所：内本町コミュニティセンター 多目的ホール (定員100人)
- 10月15日(水) 午後1時～午後8時 場所：メイシアター 中ホール (定員500人)
午後1時～3時 映画「地球交響曲～ガイアシンフォニー第一番～」
午後3時30分～5時 講演「地球とはもっと仲良くなれるはず」
講師：みなみらんぼうさん(シンガーソングライター)
- 10月30日(水) 午後6時～8時 映画「地球交響曲～ガイアシンフォニー第二番～」
午前10時～12時 講演「教室の窓にそよ風を～子どもの権利条約と国際理解の教育と関わって」
講師：金純嬉さん(KMJ研究センター・民族講師)
場所：メイシアター 集会室 (定員50人)

ボランティアスタッフ 募集します

★「(仮称)人権フェスティバル」の ボランティアスタッフ

12月の人権週間に人権協や吹田市が主催して行ないます。人権に関係した総合的なお祭りを市民参加で考えていますが、フェスティバルの準備段階から実施までお手伝い頂けるスタッフを募集します。

- 対象 人権協推進委員、吹田市在住・在勤・在学の人
- 募集人数 10人程度

★「人権協だより」の編集 ボランティアスタッフ

この「人権協だより」の企画・編集を事務局とともに担っていただける方、集まってください。年2回発行です。楽しい「人権協だより」を作りましょう。

- 対象 人権協推進委員
- 募集人数 5人程度

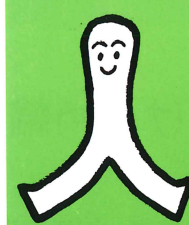
【いずれもお問合せ・お申込みは、人権協事務局へ】
【(人権啓発室内) ☎384-1231・内線2597～8】

催し・研修会紹介 (問合せ先)

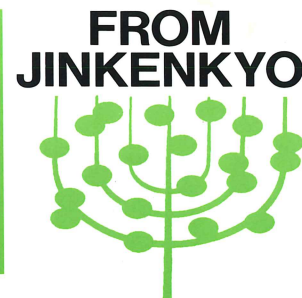
- ♥'96市民平和のつどい (人権啓発室・384-1231)
日時：8月4日～11日 会場：メイシアター
内容：平和コンサート、長崎原爆被災展、映画会 等
- ♣大阪国際平和センター (ピースおおさか・947-7208)
日時：8月15日(水) 午前10時30分～
内容：終戦の日特集・平和アニメ映画展
- ◆大阪人権博物館 (リバティおおさか・561-5891)
企画展「漫画にみる日本人の黒人像」8月中
「本田辰巳写真展・トロツコだけが残った」9月中
- ♠人権を考える府民のつどい (人権啓発室・384-1231)
日時：9月20日(金) 午後6時～
会場：大阪国際交流センター大ホール
内容：1部：講演 中田武仁さん(国連ボランティア名誉大使)
2部：コンサート 岡林信康さん(シンガーソングライター)
- ♥社会同和教育講座 (生涯学習課・384-1231)
日時：10月24日(木) 午前10時～12時
会場：大阪府立青少年会館文化ホール
内容：映画と講演

発行 / 吹田市人権啓発推進協議会
〒564 吹田市泉町 1-3-40
電話 (06) 384-1231(代) 内線2597～8

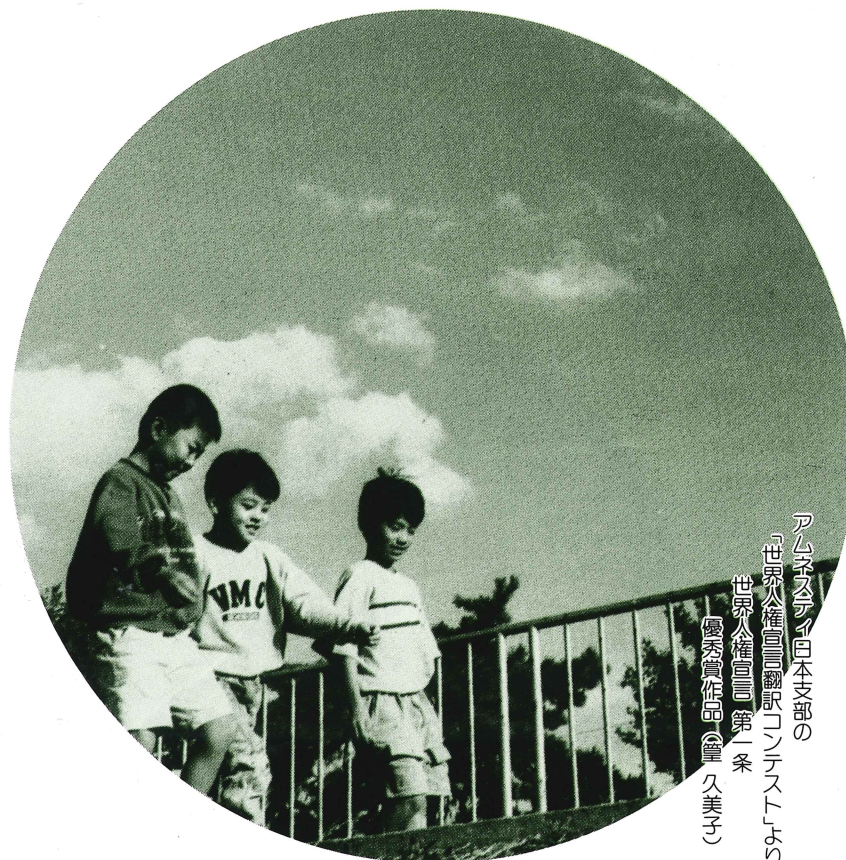
(再生紙を使用しています)



吹田市 人権協だより



No. 1
平成8(1996)年8月



君は生まれた時から
ずっと自由なんだ。
君の家族も友達も
そして世界中の
君の知らない人や
その人の家族も友達も。
同じ人間として
同じ心の高さでー平等にー
生きていくんだね。

君は生まれた時から
正しい心を持っている。
正しいことと正しくないことを
見分ける力を持っているんだ。
みんな仲間だもの
心と力を合わせて
その宝みがいっぱいだよ。

アムステルダム日本支部の
「世界人権宣言」翻訳コンテストより
「世界人権宣言」第一条
(優秀賞作品) (金久美子)

ごあいさつ

会長 森井 暲



ご承知のように、一昨年、わが国は「子どもの権利条約」を批准いたしました。その第1回の政府レポートが発表されました。全体的にそつのない内容ですが、学校の現場で起こっている「いじめ」や「差別」の実態とは程遠い、いわゆるきれいごとの報告に終始しております。かなり大部のものですから、個人で読み通すのは容易ではありません。そこで、地区活動の場で学習の資料として取り上げていただき、市民の立場からいろいろとご批判いただければ幸いです。

推進委員の皆様の日頃のご活躍に心からの敬意を表しますとともに、今後一層のご協力を賜りますようお願いしてごあいさついたします。

憲法と市民のつどい

松本サリン事件を通して、報道と人権のあり方を河野義行さんを招いて考えました。情報を正しく判断することの大切さや、人権について見つめ直す機会になり、非常によかったという感想が多く寄せられました。(アンケートより)





「さわやか・ふれあい・絆の街」

吹二・吹南地区委員会

いじめの問題は、教育関係を始めあらゆる機関で検討し、議論をし尽されてきましたが、特効薬となる解決策は未だにない様です。いじめは、するな、やめよ、ではなく、出来ない環境を作る方が大切であります。それには学校や家庭だけに任さず地域住民が、協力をせねばならない時代が来ました。事が起きてからの民生委員、保護司ではなく、事前に相談をしたり、手を差し延べる事が出来ないのだろうか。隣近所に住んでいる人も知らない。また、知ろうとしない人々が、急増している。非常に難しい問題であるが住民が一緒になって考え、悩み、そしてふれあってこそ差別のない明るい街が生まれて、いじめが減るのではないのでしょうか？

(酒徳 守)



「立命館大学国際ミュージアム見学」

千一・片山地区委員会

梅雨時の合間、好天氣に恵まれ、平成8年度第1回人権啓発推進委員の研修会が23名と多数の参加を得て実施いたしました。研修地京都は新緑まばゆく、平和そのものでした。

さて、このたび、井上立命館大学教授ならびに、市人権協事務局のご紹介により、立命館大学国際平和ミュージアムを見学・研修いたしました。

15年戦争の実態、戦時の人・くらし・生命に関しての写真(空襲・沖縄戦・原爆)・展示(軍装・兵器・日の丸寄せ書)等、館内案内者の詳細にわたる説明を聞き、戦後50年の現在、当時の悲慘な戦争を解明することが出来ました。

私も兵役(歩兵)約5年、中支戦線に生命をかけて従軍していました。二度と戦争が起こらない様願うと共に平和を求めて人権啓発活動に精進したいと思えます。

(福田誠次郎)

「天までとどけ心の輪 ～きしべふれあいひろば～」

岸一・岸二地区委員会

朝、雨が降っていましたが、始まるまでにやみ、200名余りの子どもからお年寄で「七夕飾り」を行いました。それぞれの願い事を短冊に書き、色紙の飾り付けを笹につけました。「じょうぶな孫が生まれますように」「早く母さんが元気になるように」「やさしくなりますように」などの多くの願い事を託した笹で一杯になりました。その後、2本の人権啓発映画と「七夕飾り」の様子をビデオで撮っていたものを上映し、盛会のうちに終わりました。

これからも岸部地区での、出会い・みとめあい・わかちあい・ふれあいのできる取り組みをしていきたいと考えています。人にやさしい岸部、ひいては吹田を目指してともに進めていきましょう。

(田中真寿代)

出 会 っ 会 見 動 感

すでにこんな活動が実施・計画されています。

(他の地区活動にも参加してみませんか)

〈千三地区委員会〉… 人権について学ぼう 7月13日

元中学校の校長先生より、「人はそれぞれ違いがあり、よいところをたくさん持っている。お互いを認め合い、協力して生活していくことが大切である。」など、子どもにわかりやすくお話をしていただきました。

〈豊一地区委員会〉… 国際交流盆踊り大会 8月3日

さまざまな国の人と交流することで、お互いを理解し合おうと、日本に住む外国の人々と着物の着付けや歴史を学んだり、盆踊りをしたりして交流を深めます。

〈東佐井寺地区委員会〉…

子どもサマーフェスティバル 8月3日

子どもサマーフェスティバルの一角で、人権アニメビデオの放映コーナーを設け、子ども達と楽しい夏のひとときを過ごします。



「あしたの子育てネットワークをつくろう」

北千里・青山台地区委員会

聞いて話して気軽にトーク&トーク。20代から60代の女性が「明日の子育て」というテーマで話し合いました。

60代の人から、戦争で大変な時代、子育てよりも姑との戦い、家族が多い中での大変さが語られました。

20代は核家族の中で、子育ての知識を本やテレビで知り、子どもと向かい合った時、現実と理想のギャップに悩み、ノイローゼ気味になりました。

世代をこえた話し合いの場は、参加者の経験や知識、情報の交換が、次の世代に伝える大事な役割を担っていることを学びました。

新しい時代にみんなて探そう地域の宝を、活そう皆の知恵を…。

(及川房子)



「医療から見た人権」 西山田地区委員会

「医療からみた人権」をテーマとする学習会は公民館の集会室を満席にして行われました。講師は山形大学精神神経科の医師でありアムダに所属する桑山紀彦さんです。アムダとは、アジア医師連絡協議会、世界各地の病気災害に対応するNGOです。

お話はスライドを多用し視覚を揺さぶりながら進められました。舞台はカンボジア、フィリピン。たんに医療行為にとどまりません。写し出された人々の、特に子ども達の苛酷な生活背景が語られ、医療の大切さが語られるとともに日本人の果たすべき役割を深く考えさせるものでした。熱心な参加者の中にはふだん地域活動からは遠ざかりがちな若い層が目立ち、この層のボランティアの高まりを感じさせるものでした。

(加藤弘道)

